

令和 5 年 2 月 28 日

スタッフ各位

株式会社 徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

新年を迎えたと思ったらもう 3 月になり、時間が早く過ぎる気がする毎日です。本年は大相撲春場所や卒業式、入学式のお弁当の予約が数年ぶりに復活し、コロナ禍から少しずつ日常が戻りつつあります。さて今月はスタッフの皆様全員に業務改善の提案書を提出いただきました。普段の仕事の中で不便を感じたり、変更するべきルールや規則、方法を変えたり機械を使えばもっと効率的に仕事はかどるといったアイデア、お客様がもっと喜んでいただける変更を募集しています。

私はこの会社の社長ですが現場のことを全て理解しているわけではありません。視察をたまにしますが管理職スタッフからの普段の報告と会議がほとんどです。それゆえに今ある仕事のやり方を改善できるのは現場の皆様しかないと考えています。小さなヒントやちょっとした考え方の変更を募集します。

さて、東洋の古典の「菜根譚」の中に「思い通りにならなくて心を痛めてはならない。思い通りになったからって有頂天になってもいけない。平安無事が続いてもそれを頼りにしてはいけない。最初に困難にぶつかってもくじけてはいけない」というものがあります。人は自分の思い通りにいかないことがあると感情をコントロールしにくくなりがちです(私もそうですが)この言葉を指針にして何があっても自分のやるべきことをやり続けなければならないといつも諫めています。

また「人生はゴールがなくて死ぬまでがずっと通過点なので常に目標を高く持ちなさい」と先輩経営者によく言われます。つまり人間は死ぬまで学び続けなければならないということです。長く生きているといろいろなことが起きますが常に向上心を持って明るく前向きに生きることが大切だと最近特に感じます。

コロナ禍が 3 年続いて私どもの会社も大きなダメージを受けたことは間違いありません。スタッフの皆様にもたくさんのご労苦をおかけしたと思います。しかしながらコロナ禍が私たちに与えてくれたものもたくさんあります。1 日 1 日の単位で見ると坂道を上がっているのか下がっているのかわからないかもしれませんが私どもの社業は間違いなく前を向いて着実に登っています。さらなる改善と改革のヒントの協力をよろしくお願いいたします。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々